

ISSN 1882-5230

むかわ町立
穂別博物館館報

第29号

平成23（2011）年度版

むかわ町立穂別博物館

目 次

沿革	----- (p. 1)
施設の概要	----- (p. 4)
施設平面図	----- (p. 4)
展示活動	----- (p. 5)
広報活動	----- (p. 6)
普及教育活動	----- (p. 7)
収蔵資料概要	----- (p. 11)
資料収集保存活動	----- (p. 11)
調査研究活動ほか	----- (p. 14)
運営	----- (p. 16)

当館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設された。

穂別町立博物館は昭和 50(1975) 年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見が契機となり建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約 10 年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55(1980) 年 11 月 26 日＞

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2(1990) 年 6 月 27 日＞

〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

II 沿革

- * 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名義として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- * 名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50(1975) 年

- 6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

昭和 51(1976) 年

- 9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

昭和 52(1977) 年

- 2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鰭の一部であると確認された。
- 7月 5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

昭和 53(1978) 年

- 5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
- 11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和 54(1979) 年

- 5月：長頸竜化石骨が穂別町指定文化財第2号に指定される。

昭和 55(1980) 年

- 10月 16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和 56(1981) 年

- 3月 13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和 56(1981) 年

- 7月-12月：博物館建設工事
- 9月 1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

昭和 57(1982) 年

- 1月 16日：長頸竜復元作業開始
- 3月-6月：博物館展示工事
- 7月 20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8月 26日：「博物館協議会」発足
- 11月 1日：北海道博物館協会加入
- 12月 19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12月 19日-1月 23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和 58(1983) 年

- 3月 2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

昭和 58(1983) 年

- 3月 28日：「博物館協力会」設立
- 4月 1日：日本博物館協会加入
- 4月 28日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7月 22日-8月 7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
- 8月 1日：全国科学博物館協議会加入
- 11月 1日-3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和 59(1984) 年

- 2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3月 27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6月 14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11月 1日-4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
- 12月 1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和 60(1985) 年

- 3月 30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5月 1日：地徳力学芸員就任（-平成11年3月31日）
- 11月 1日-10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和 61(1986) 年

- 10月 21日-11月 9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和 62(1987) 年

- 1月 1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7月 28日-8月 9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和 63(1988) 年

- 7月 17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月 23日-9月 4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」
- 10月 6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989) 年

- 6月 30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月 18日-8月 20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」
- 9月 29日-10月 6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

平成 2(1990) 年

- 7月 23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月 18日-9月 16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月 3日-5日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

平成 3(1991) 年

- 12月 31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成 4(1992) 年

- 4月 1日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4月 28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成 4(1992) 年

- 2月 1日：展示更新工事開始
- 4月 23日-25日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4月 29日：展示更新完了、一般公開再開

平成 6(1994) 年

- 4月 1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月 1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3月31日）

平成 7(1995) 年

- 7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
- 7月27日-28日:96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
- 10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
- 7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
- 4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
- 6月11日:星功(第十代)館長就任
- 8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
- 1月1日:山田正(第十一代)館長就任
- 5月29日:入館者30万人突破記念事業
- 8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日-11月28日:特別展(第11回)「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
- 8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
- 8月1日-8月25日:特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
- 4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日-21日:特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
- 7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
- 7月27日-8月9日:博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日-9月27日:特別展(第16回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
- 1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
- 7月20日-8月31日:特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
- 7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
- 7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
- 3月27日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
- 3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
- 7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
- 10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
- 4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
- 7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
- 11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
- 7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
- 11月1日-12月7日:特別展(第28回)「穂別D遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成21(2009)年
- 7月18日-9月30日:特別展(第29回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
- 2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
- 7月17日-10月31日:特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成23(2011)年
- 3月19日-5月29日:特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
- 4月1日:今莊光男(第十五代)館長就任
- 7月23日-10月30日:特別展(第33回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
- 12月3日:「モササウルス国際シンポジウム」

施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

【町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収蔵庫	86.56m ²
事務室	40.50m ²
研究室	31.50m ²
整理室	29.92m ²
学習展示室	184.75m ²
書庫	35.05m ²
共用部門	219.76m ²

〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

〔総事業費〕

362,165,000 円

〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事務室	53.46m ²
作業室	81.00m ²
書庫	14.04m ²
展示物保管庫	162.00m ²
共用部門	15.39m ²

〔工 期〕

平成 7 年度

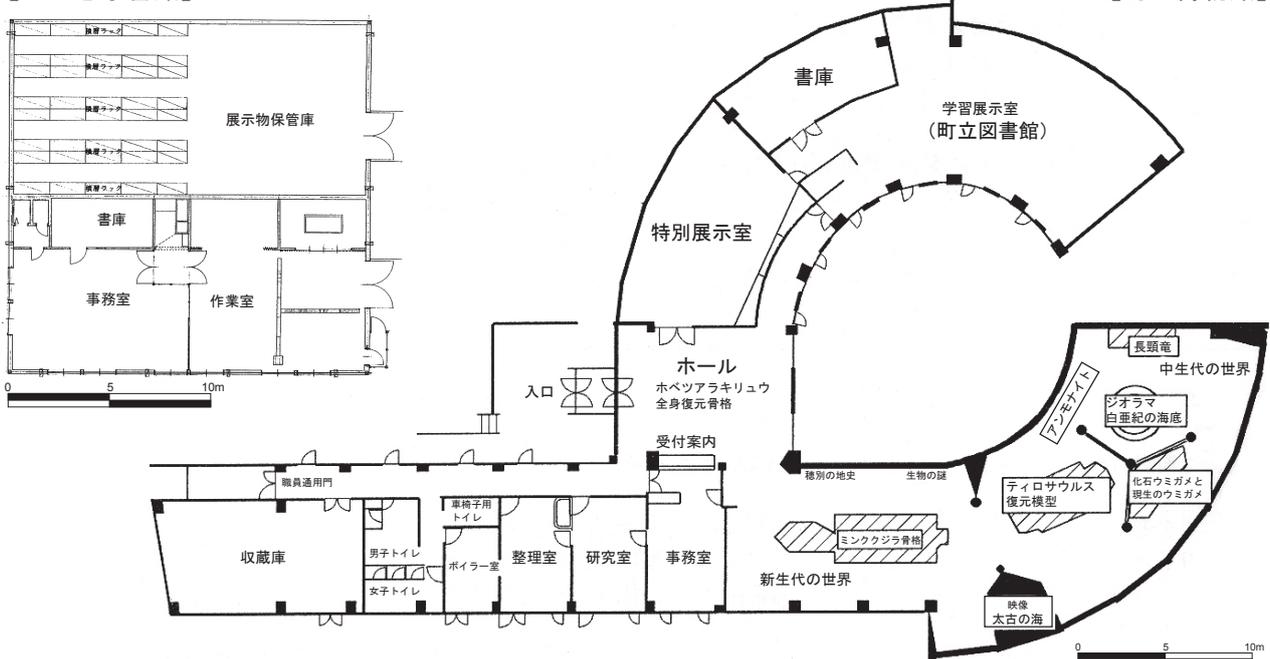
〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

施設平面図

【かせき学習館】

【町立博物館】



展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

- 6/2 イノセラムス化石 常設展に追加
- 6/14 メタセコイア写真追加
- 6/23 展示室照明（一部）をLEDに入れ替え
- 6/25 現生生物写真（スナモグリ・ウニ・ヒトデ）を展示室に追加
- 1/13-3/19 入口ホール・常設展示アンモナイトコーナーの入れ替え

【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	13	317
		爬虫類（長頸竜 14 [*] 、モササウルス 8 [*] 、カメ 6 [*] 、他 2）	30	
		哺乳類（クジラ 8、デスマスチルス 2 [*] 、他 10）	20	
	その他動物	軟体動物（頭足類 102、腹足類 31、斧足類 72、他 5）	210	
		その他（甲殻類 10、その他 9）	19	
	植物		23	
生痕		2		
現生生物	脊椎動物	爬虫類（カメ）	3	20
		哺乳類（クジラ 5、鯨脚類 1、その他 2 [*] ）	8	
	その他動物	軟体動物（頭足類）3、甲殻類 1、その他 4	8	
	植物		1	
復元模型	脊椎動物	爬虫類 4（長頸竜 2、モササウルス 1、カメ 1）、哺乳類 1	5	5
その他	岩石標本等		36	36
合計				378

(2012年3月31日現在) ※：レプリカ含む

II 特別展示

【特別展（第32回）】「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」：平成23(2011)年3月19日-5月29日

イノセラムスに関する学術的側面の解説、イノセラムス・ホベツエンシスの模式標本の公開、日本産イノセラムスの化石層序、孵化後の幼生時の浮遊生活、殻装飾形成パターン、巨大化の謎、いのせらたん（イノセラムスオリジナルキャラクター、全15種）について紹介。

展示協力：熊谷太朗（京都大学）、生形貴男（静岡大学）、田上響（福岡大学）、北海道大学総合博物館、静岡大学キャンパスミュージアム

見学者数：3,198人<当年度分（4/1-5/29）：3,041人+前年度分（3/19-3/31）：157人>

【特別展（第33回）】「歯のかたち -クビナガリュウ vs モササウルス-」：平成23(2011)年7月23日-10月30日

脊椎動物固有の器官であり、化石としても残りやすい「歯」に注目し、歯の形態と食物の関係について紹介する。脊椎動物の各グループの歯についての説明、食性に応じて著しく分化した哺乳類の歯の代表例を紹介する。クビナガリュウとモササウルスのそれぞれの歯の形態と役割、捕食していた生物の違いについて説明する。

展示協力：札幌市博物館活動センター、札幌市円山動物園、苫小牧市博物館

見学者数：4,540人

Ⅲ 年間入館者数

(単位：人)

分類		平成 19 年度 (2007)	平成 20 年度 (2008)	平成 21 年度 (2009)	平成 22 年度 (2010)	平成 23 年度 (2011)
個人	一般	6,280	6,661	6,225	6,295	5,853
	学生	2,866	3,106	2,709	2,727	2,415
団体	一般	289	322	524	450	669
	学生	534	764	784	715	1,045
計		10,388	9,969	10,242	10,187	9,982
幼児		1,741	1,574	1,373	1,537	1,508
合計		12,129	11,543	11,615	11,724	11,490

個人：割引入館者（穂別地球体験館との共通利用割引）と無料入館者（特定入館日、減免等）を含む。

団体：10名以上 一般：高校生より上 学生：小学生～高校生 幼児：小学生未満（無料）

広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

A4版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。

- 317号<平成23(2011)年4月>：「今年の化石体験メニュー／いのせらたんの紹介（2/3）」
- 318号<平成23(2011)年5月>：「平成22年度の寄贈資料／いのせらたんの紹介（3/3）」
- 319号<平成23(2011)年6月>：「化石採集会のお知らせ／観覧券のデザイン変更のお知らせ」
- 320号<平成23(2011)年7月>：「穂別博物館2011夏季特別展『歯のかたち』／イノセラムスの展示を移動しました」
- 321号<平成23(2011)年8月>：「穂別博物館2011夏季特別展『歯のかたち』開催中／クリーニング中のモササウルス標本」
- 322号<平成23(2011)年9月>：「モササウルス第11標本を発見・採集しました／穂別博物館所蔵のモササウルス化石」
- 323号<平成23(2011)年10月>：「フジツボ化石を発見しました／フジツボについて」
- 324号<平成23(2011)年11月>：「モササウルス国際シンポジウム／シンポジウム講師紹介」
- 325号<平成23(2011)年12月>：「穂別の化石紹介①ホベツアラキリュウ」
- 326号<平成24(2012)年1月>：「モササウルス国際シンポジウムを開催しました／研究の様子」
- 327号<平成24(2012)年2月>：「2011年の調査研究などの利用紹介」
- 328号<平成24(2012)年3月>：「穂別の化石紹介②モササウルス・ホベツエンシス／巨大アンモナイトを移動しました」

【博物館ホームページ】

行事予定を中心に、内容を随時更新している。

<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

【新聞等掲載】

【北海道新聞 小牧圏「とまにち博物誌」】

平成23(2011)年7月22日：「モササウルス－鋭い歯で何食べた？－」（29回目）

平成24(2012)年1月20日：「穂別の『竜』たち－辰年に新たな目覚め？－」（30回目）

【広告等掲載】

【北海道じゃらん】（リクルート北海道じゃらん）

平成23(2011)年：6月号、7月号、8月号、9月号、10月号、全国版

【北海道生活】（株式会社コスモメディア）

【日高・胆振・十勝めぐろうナビ】（ツーリストサービス北海道）

普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【特別展】（「展示活動」を参照）

※見学者数は、期間中の入館者数と会場に設置した見学者名簿に記入された穂別地区住民数の合計

特別展（第32回）「白亜紀の巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」＜平成23(2011)年3月19日～5月29日＞見学者3,198人＜当年度分(4/1～5/29)：3,041人＋前年度分(3/19～3/31)：157人＞
特別展（第33回）「歯のかたち -クビナガリュウvsモササウルス-」＜平成23(2011)年7月23日～10月30日＞見学者4,540人

【ミニ展示】

「モササウルス新規資料展」

第1回：平成23(2011)年4月29日～5月8日

第2回：平成23(2011)年8月6日～21日

穂別博物館モササウルス第10標本のクリーニング作業と研究の進展を紹介。

「北米西海岸産白亜紀アンモナイトのレプリカ展」

：平成23(2011)年5月3日～29日

カリフォルニア科学アカデミーに収蔵されている北米西海岸産アンモナイトのレプリカ（石膏模型）の展示。

「新発見 穂別産フジツボ化石」

：平成23年(2011)年10月8日～平成24(2012)年4月15日

新たにフジツボ化石を発見したこととその標本を紹介。展示協力：野村真一（千葉県立天羽高等学校）

【町民文化祭】

(1) 第55回穂別地区町民文化祭へ出展

「いのせらたん展」：平成23(2011)年10月22日～24日

オリジナルキャラクター「いのせらたん」の紹介。

(2) 鶴川地区町民文化祭へ出展

「穂別博物館の紹介」：平成23(2011)年10月31日～11月3日

穂別博物館の展示内容についての紹介。モササウルス国際シンポジウム開催の予告。

【シンポジウム】

「モササウルス国際シンポジウム」

2009年に穂別地区で発見されたモササウルス類新規標本の研究のために来日したCaldwell教授と小西博士を中心に、穂別産モササウルス類やモササウルス研究の最前線を紹介した。

開催：平成23(2011)年12月3日 12:30～15:30（むかわ町 道の駅 四季の館）

講演者：

Michael W. Caldwell マイケル・カウルドウエル（カナダ アルバータ大学 教授）

小西卓哉（カナダ 王立ティレル古生物学博物館）

櫻井和彦（むかわ町立穂別博物館 学芸員）

西村智弘（むかわ町立穂別博物館 普及員）

後援：日本古生物学会・日本地質学会・むかわ町立穂別博物館協会

協力：千歳化石会

参加者：62人

事前普及事業：

レプリカづくり（穂別産モササウルスの歯）・レプリカアクセサリーづくり

会場 シンポジウムと同会場

時間 10:00～12:00

参加者 15人

【化石採集会】

学芸員による展示案内の後、白亜紀の地層が露出している場所で化石を採集する。各回定員20名。事前申込・抽選で選出した。第1・3回は稲里シュッタの沢、第2・4回は長和スタポマナイ沢で実施した。

観覧料（「運営」を参照）と体験参加料（一人100円）を徴収。

参加人数計：47人

第1回＜平成23(2011)年6月18日＞（小7・大8）

第2回＜平成23(2011)年7月9日＞（小4・大7）

第3回＜平成23(2011)年9月10日＞（小3・大5）

第4回＜平成23(2011)年10月1日＞（小5・大12）

【化石体験】

観覧料のみで以下のメニューを体験できる（「アンモナイト立体図鑑は有料）。それぞれのメニューを日替わりで実施した。

<実施内容>

化石クリーニング体験：ハンマーとタガネを使って、

石の中から化石を取り出す。博物館入口横、かせき学習館で実施。

化石レプリカづくり：シリコン型に石こうを流し込み、アンモナイトのレプリカ（石こう模型）を作成する。かせき学習館で実施。

アンモナイト立体図鑑づくり：アンモナイトの石こう模型づくり。全15種類で、オリジナル解説シートがもらえる。有料（1個100円）で実施。「化石体験コーナー」の化石レプリカづくりと同時開催および化石採集会の参加者で希望者に対して実施した。かせき学習館で実施。作成個数62個。

レプリカアクセサリーづくり：自由樹脂プラスチックを用いたアクセサリーの作成。アンモナイトストラップかサンダルアクセサリーのどちらかが作成できる。かせき学習館で実施。

<参加者数>

参加者総数：495人

化石クリーニング体験：116人。

化石レプリカづくり：218人。

レプリカアクセサリーづくり：161人。

<開催日程>

開催日数：14日間

①5月の大型連休：3日間

平成23(2011)年5月3、4、5日。10:00-16:00（最終受付15:30）

②7月中旬～8月初旬の土日：8日間

平成23(2011)年7月16、17、23、24、30、31、8月6、7日。10:00-15:00（最終受付14:30）

③9月の連休：3日間

平成23(2011)年9月17、18、19日。10:00-16:00（最終受付15:30）

【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4枚）。景品はオリジナルシール。

化石が語る絵物語：穂別の化石を紹介する、小さな塗り絵シート（2種類）。

ミニジオラマ（クビナガリュウの海）：着色・切り抜いて、自分で作成するジオラマの型紙。穂別の化石が題材。

Ⅱ その他事業

【出前授業】

平成23(2011)年11月

16日：鶴川高校3年生<化石の話・化石クリーニング>（小8・大4）

【講師派遣等】

平成23(2011)年8月

24日：NHK札幌放送局ほか主催「地球最古の恐竜展」（札幌市・月寒北翔クロテックドーム）普及講演「サイエンスミステリー 海の古代生物（第4回）クビナガリュウ」講師（櫻井学芸員）参加者72人（午前30人・午後42人）

平成23(2011)年11月

19日：日高山脈館 普及事業「石の鑑定会」（日高山脈館・日高町）講師（櫻井学芸員）

【運営協力等】

平成23(2011)年7月16日～平成24(2012)年6月10日：読売新聞社主催特別展「OCEAN! 海はモンスターでいっぱい」（展示協力）（鳥取県立博物館、大阪市立自然史博物館、岡山市デジタルミュージアム、名古屋市科学館：4館巡回）

平成23(2011)年7月23日～8月28日：沼田町化石館特別展「これがモササウルスだ!」（展示協力）（沼田町 ほろしん温泉ほたる館ロビー）

平成23(2011)年10月8日～平成24(2012)年1月9日：ミュージアムパーク茨城県自然博物館第53回企画展「恐竜発掘 - 過去からよみがえる巨大動物 -」（展示協力）（茨城県 ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

平成24(2012)年1月7日～16日：足寄動物化石博物館「辰年ミニ展示」（展示協力）（足寄町 足寄動物化石博物館）

平成23(2011)年11月17日～平成24(2012)年2月21日：室蘭市水族館 化石同定依頼対応

Ⅲ 団体等の利用

Ⅲ - 2 町外団体の利用

学芸員等が対応したものは◇で内容を示した

Ⅲ - 1 町内団体等の利用

学芸員等が対応したものは◇で内容を示した

【町内学校・教育関係団体】

平成 23(2011) 年 5 月

19 日：さくら保育園（幼 52・大 7）

26 日：むかわ町教育研究会＜地質見学・化石採集＞（大 7）

平成 23(2011) 年 6 月

1 日：穂別小学校 4 年生（総合学習）＜展示見学＞（小 18・大 2）

14-16 日：穂別高校 2 年生＜インターンシップ＞（小 2）

22 日：穂別小学校 4 年生（総合学習）＜化石採集＞（小 18・大 2）

29 日：穂別小学校 4 年生（総合学習）＜化石クリーニング・レプリカづくり＞（小 18・大 2）

平成 23(2011) 年 7 月

17 日：穂別高校寮生・保護者＜展示見学＞（小 7・大 12）

平成 23(2011) 年 10 月

13 日：穂別高校 1 年生＜化石の話・展示見学・化石採集＞（小 31・大 2）

平成 23(2011) 年 11 月

11 日：鶴川中央小学校 2 年生＜展示見学＞（小 26・大 2）

平成 24(2012) 年 2 月

8 日：鶴川中央小学校 3 年生＜展示見学・質問対応＞（小 41・大 2）

10 日：鶴川中学校 1 年生＜展示見学＞（小 50・大 4）

【町内各種団体】

平成 23(2011) 年 4 月

5 日：穂別地球体験館サイエンスガイド新人研修＜展示見学＞（大 1）

平成 23(2011) 年 6 月

12 日：むかわ町美幸第一町内会＜展示見学＞（大 14）

【町外学校・教育関係団体】

平成 23(2011) 年 5 月

21 日：恵庭青少年研修センター＜展示見学＞（小 20・大 7）

平成 23(2011) 年 6 月

13 日：札幌市立北洋中学校（小 190・大 16）

23 日：北海道長沼高校＜展示見学＞（小 77・大 5）

30 日：胆振管内高等学校初任者研修＜展示見学＞（大 8）

：千歳市立東千歳中学校 2 年生（小 5・大 4）

平成 23(2011) 年 7 月

5 日：日高町立日高小学校 1 年生（小 3・大 2）

6 日：苫小牧市立沼ノ端小学校 5 年生（小 73・大 5）

7 日：厚真町立厚真中央小学校 5 年生＜展示見学＞（小 17・大 4）

24 日：山の手博物館＜展示見学＞（大 12）

平成 23(2011) 年 8 月

16 日：札幌宮の森中学校科学部＜展示見学＞（小 26・大 5）

26 日：日高中部特別支援学級合同学習（小 34・大 22）

平成 23(2011) 年 9 月

2 日：夕張市立夕張小学校 1 年生（小 41・大 5）

2 日：京都大学理学部 地質巡検＜展示見学＞（大 9）

平成 23(2011) 年 10 月

4 日：富川ひばり幼稚園（幼 40・大 4）

5 日：富川ひばり幼稚園（幼 50・大 4）

6 日：富川ひばり幼稚園（幼 43・大 4）

8 日：NPO 法人ナチュラス（小 15・大 3）

26 日：厚真町立上厚真小学校 6 年生＜展示見学＞（小 11・大 1）

30 日：恵庭青少年研修センター＜展示見学＞（小 19・大 9）

平成 23(2011) 年 11 月

22 日：日高保育園年長組（幼 11・大 2）

26 日：平成 24 年度穂別高校入学希望者（小 5・大 5）

【町外各種団体】

平成 23(2011) 年 4 月

29 日：千歳化石会会員＜展示見学＞（小 1・大 1）

平成 23(2011) 年 6 月

2日：北海道ストローク友の会（大18）
8日：硬石山クラブ（大26）
10日：NHK文化センター新さっぽろ教室（大16）
平成23(2011)年7月

13日：安平町教育委員会視察＜展示見学＞（大3）
19日：沼田町化石館スタッフ＜展示見学＞（大3）
23日：近畿日本ツーリスト（幼1・小4・大6）
26日：近畿日本ツーリスト（幼1・大16）
29日：近畿日本ツーリスト（小8・大11）

平成23(2011)年8月

2日：近畿日本ツーリスト（小4・大6）
3日：ふくしまキッズ夏季林間学校体験学習＜展示見学・レプリカ作成＞（小7・大2）
3日：近畿日本ツーリスト（小9・大12）
5日：近畿日本ツーリスト（幼2・小10・大17）
6日：近畿日本ツーリスト（小16・大20）
7日：恵庭若草タイガース（小17）
7日：近畿日本ツーリスト（小3・大9）
8日：札幌清田区子ども会育成連合会（小78・大13）
8日：近畿日本ツーリスト（幼1・小6・大8）
9日：近畿日本ツーリスト（小6・大10）
10日：近畿日本ツーリスト（幼1・小8・大9）
11日：ふくしまキッズ夏季林間学校体験学習＜展示見学・レプリカ作成＞（小10・大13）
11日：近畿日本ツーリスト（幼3・小10・大14）
16日：近畿日本ツーリスト（幼2・小13・大15）
18日：安平町高齢者大学（大44）
19日：近畿日本ツーリスト（小18・大26）
20日：近畿日本ツーリスト（小5・大11）
21日：近畿日本ツーリスト（小1・大3）
22日：木育マイスター研修会参加者＜中村記念館・人文系資料見学＞（大30）
23日：山村留学者視察（小1・大2）
23日：近畿日本ツーリスト（小19・大34）
25日：近畿日本ツーリスト（幼1・小6・大11）
25日：南富良野町高齢者大学（大38）
26日：近畿日本ツーリスト（小4・大6）
31日：夕鉄旅行センター視察（大2）

平成23(2011)年9月

13日：沼田町化石館スタッフ＜展示見学＞（大4）
24日：NPO法人ナチュラス視察（大3）

平成23(2011)年10月

11日：スポーツピア＜展示見学＞（大9）

平成23(2011)年11月

17日：室蘭市水族館スタッフ＜展示見学＞（大5）

平成24(2012)年3月

8日：中国農業研修生＜展示見学＞（大14）
29日：ふくしまキッズ＜展示見学・レプリカ作成＞（小5・大3）

収蔵資料概要（登録資料）

【自然史系登録資料（HMG）】（地質・化石資料） 1,575点
【自然系登録資料（HMB）】（現生動植物資料） 165点
【人文系登録資料（HMC）】（民俗・歴史資料） 3,831点

計 5,571点（2012.3.31.現在）

【町指定文化財】 HMG-1「ホベツアラキリュウ化石骨」：むかわ町指定文化財登録番号第3号

資料収集保存活動

I 新規寄贈資料

受入番号：寄贈資料／点数／寄贈者名（敬称略）
（千）：千歳化石会

【自然史系資料】（25件・41点）

2011-001：化石含有ノジュール／1／服部義幸（千）
2011-002：化石含有ノジュール／11／阿部利春
2011-003：生痕化石（フナクイムシ）／1／林光重（千）
2011-004：アンモナイトノジュール／1／堀田良幸
2011-005：アンモナイト／1／服部義幸（千）
2011-006：アンモナイト／1／服部義幸（千）
2011-007：アンモナイトノジュール／2／服部義幸（千）
2011-009：化石含有ノジュール／3／服部義幸（千）
2011-010：化石含有ノジュール／3／服部義幸（千）
2011-015：脊椎動物化石／1／伊豆倉正隆
2011-016：脊椎動物化石／1／西村智弘
2011-018：クジラ化石／1／日高町立門別図書館郷土資料館
2011-019：アンモナイト（*Hauericeras* sp.）／1／森伸一
2011-020：イノセラムス含有岩石／1／山口晴幹
2011-021：アンモナイト含有岩石／2／長岡晴道
2011-022：植物化石（球果）？／1／金森優子
2011-023：アンモナイト（*Eupachydiscus* sp.）／1／菅原昭二
2011-024：脊椎動物化石（歯：*Ptychodus* sp.）／1／西村智弘
2011-025：二枚貝化石含有岩石／1／林光重（千）
2011-039：サーベルタイガー頭骨レプリカ／1／櫻井和彦
2011-042：プリオサウルス歯レプリカ（白亜紀）／1／櫻井和彦
2011-043：プリオサウルス歯レプリカ（ジュラ紀）／1／櫻井和彦
2011-044：グロビデンス（モササウルス類）歯／1／

櫻井和彦

2011-048：デスモスチルス臼歯レプリカ／1／櫻井和彦

2011-050：平取町産アンモナイト／1／重田康成

【自然系資料】（15件・15点）

2011-045：コモドオオトカゲ頭骨レプリカ／1／櫻井和彦
2011-046：イワシクジラ ヒゲ板／1／櫻井和彦
2011-047：ナガスクジラ ヒゲ板／1／櫻井和彦
2011-040：マッコウクジラ歯レプリカ／1／櫻井和彦
2011-041：シャチ歯レプリカ／1／櫻井和彦
2011-035：ガラガラヘビ頭骨／1／櫻井和彦
2011-036：ムカシトカゲ頭骨レプリカ／1／櫻井和彦
2011-037：ミズオオトカゲ頭骨レプリカ／1／櫻井和彦
2011-038：ワニ頭骨レプリカ／1／櫻井和彦
2011-029：ヒト頭骨レプリカ／1／櫻井和彦
2011-030：ネコ頭骨／1／櫻井和彦
2011-031：サメ顎／1／櫻井和彦
2011-032：ワニ頭骨／1／櫻井和彦
2011-033：ワニ頭／1／櫻井和彦
2011-034：カエル頭骨レプリカ／1／櫻井和彦

【人文系資料】（0件・0点）

II 新規採集資料

【自然史系資料】（7件・28点）

2011-008：化石含有ノジュール（12）
2011-011：化石含有ノジュール（7）
2011-012：クロム鉄鉱（4）
2011-013：イノセラムス（破片）（1）
2011-026：二枚貝化石含有岩石（1）

2011-027 : アンモナイト他含有岩石 (2)

2011-028 : ウミユリ破片等含有岩石 (1)

【自然系資料】 (3 件・5 点)

2011-014 : エゾシカ下顎 (雌ほか) (3)

2011-017 : メタセコイア (葉) (1)

2011-049 : サケ歯骨 (1)

【人文系資料】 (0 件・0 点)

Ⅲ 野外調査活動

【現地調査】 30 回

うち、外部研究者 (研) と合同調査 : 8 回

千歳化石会 (千) と合同調査 : 3 回

4 月 : 17 (千)、22、29 (研・千)、30 (研)

5 月 : 6 (研)、7 (研・千)、8 (研)、13、18、
19、25、27

6 月 : 8、9、16、17

7 月 : 2、6、13

8 月 : 12 (研)

9 月 : 9 (研)

10 月 : 5、7、14、20、21

11 月 : 10 (研)、12

Ⅳ 新規登録資料

登録番号 : 資料名 / 受入番号 / 寄贈 (採集) 者名 (敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】 (化石・地質) : 22 点

HMG-1565 : 砂岩 / むかわ町穂別平丘 / 2000-049 / 穂別博物館

HMG-1566 : プチコダス *Ptychodus* sp. (歯) / 2011-024 / 西村智弘

HMG-1567 : サーベルタイガー *Smilodon* sp. (部分レプリカ) / 2011-039 / 櫻井和彦

HMG-1568 : プリオサウルス類 (歯レプリカ) / 2011-042 / 櫻井和彦

HMG-1569 : プリオサウルス類 *Pliosaurus grandis* (イギリス産歯レプリカ) / 2011-043 / 櫻井和彦

HMG-1570 : グロビデンス *Globidens* sp. (モロッコ産歯) / 2011-044 / 櫻井和彦

HMG-1571 : デスモスチルス *Desmostylus* sp. (北アメリカ産臼歯レプリカ) / 2011-048 / 櫻井和彦

HMG-1572 : モササウルス類 *Mosasauroidea* gen. et sp. indet. (椎骨、肋骨) / 2011-016 / 西村智弘

HMG-1573 : ゴードリセラス *Gaudryceras* sp. / 2011-050 / 重田康成

HMG-1574 : ユーパキディスキス *Eupachydiscus haradai* / 2011-051 / 穂別博物館

HMG-1575 : イノセラムス *Sphenoceras schmidti* / 2011-052 / 穂別博物館 (地徳力・川上源太郎・渋谷直憲)

HMG-1576 : ゴードリセラス *Gaudryceras tenuiliratum* / 1981-033b / 鈴木茂・荒木新太郎・高橋博志

HMG-1577 : テトラゴニテス *Tetragonites glabrus* / 2003-032 / 穂別博物館

HMG-1578 : ユーパキディスキス *Eupachydiscus haradai* / 1997-019 / 穂別博物館

HMG-1579 : テトラゴニテス *Tetragonites glabrus* / 2011-053 / 西村智弘

HMG-1580 : パラジウベルツテラ *Parajaubertella kawakitana* / 2010-004 / 服部義幸・安倍寛治 (千歳化石会)

HMG-1581 : ゴードリセラス *Gaudryceras tenuiliratum* / 1997-014 / 千歳化石会

HMG-1582 : ポリプチコセラス *Polyptychoceras pseudogaultinum* / 1997-016 / 真田健次・野田雅之

HMG-1583 : バキュリテス *Baculites tanakae* / 1997-016 / 真田健次・野田雅之

HMG-1584 : ユーボストリコセラス *Eubostrioceras muramotoi* / 2011-054 / 西村智弘

HMG-1585 : マリエラ *Mariella oehlerti* / 2010-035 / 服部義幸 (千歳化石会)

HMG-1586 : パキディスキス *Pachydiscus gracilis* / 1995-018 / 穂別町立博物館協力会

【自然系資料 (HMB)】 (現生生物) : 20 点

HMB-146 : メタセコイア *Metasequoia glyptostroboides* / 2011-017 / 穂別博物館

HMB-147 : クロミンククジラ (ヒゲ板) / 2008-107 / 財団法人 日本鯨類研究所

HMB-148 : クロミンククジラ (ヒゲ板) / 2008-107 / 財団法人 日本鯨類研究所

HMB-149 : クロミンククジラ (ヒゲ板) / 2008-107 / 財団法人 日本鯨類研究所

HMB-150 : ヒト *Homo sapiens sapiens* (頭骨レプリカ) / 2011-029 / 櫻井和彦

HMB-151 : ネコ *Felis catus* (頭骨レプリカ) / 2011-

030 / 櫻井和彦
 HMB-152 : サメ (顎) / 2011-031 / 櫻井和彦
 HMB-153 : ワニ (頭骨) / 2011-032 / 櫻井和彦
 HMB-154 : ワニ (頭部) / 2011-033 / 櫻井和彦
 HMB-155 : ゴライアスガエル *Conraua goliath* (頭骨レプリカ) / 2011-034 / 櫻井和彦
 HMB-156 : ガラガラヘビ *Crotalus* sp. (頭骨) / 2011-035 / 櫻井和彦
 HMB-157 : ムカシトカゲ *Sphenodon* sp. (頭骨レプリカ) / 2011-036 / 櫻井和彦
 HMB-158 : ミズオオトカゲ *Varanus salvator* (頭骨レプリカ) / 2011-037 / 櫻井和彦
 HMB-159 : ワニ (頭骨レプリカ) / 2011-038 / 櫻井和彦
 HMB-160 : マッコウクジラ *Physeter macrocephalus* (歯レプリカ) / 2011-040 / 櫻井和彦
 HMB-161 : シヤチ *Orcinus orca* (歯レプリカ) / 2011-041 / 櫻井和彦
 HMB-162 : コモドオオトカゲ *Varanus komodoensis* (頭骨レプリカ) / 2011-045 / 櫻井和彦
 HMB-163 : イワシクジラ *Balaenoptera borealis* (ヒゲ板) / 2011-046 / 櫻井和彦
 HMB-164 : ナガスクジラ *Balaenoptera physalus* (ヒゲ板) / 2011-047 / 櫻井和彦
 HMB-165 : サケ *Oncorhynchus keta* (歯骨) / 2011-049 / 穂別博物館

【人文系資料 (HMC)】 (生活・歴史等) : 0 点

V 資料の貸出・提供

【研究】

HMG-366、367、1053、1054、1055 (ウミガメ化石 5 点) : 平山廉 (早稲田大学、旧所属 : 帝京平成大学) <平成 6(1994) 年 8 月 17 日 - 平成 24(2012) 年 3 月 31 日>
 HMG-1063、1064 (ウミガメ化石 2 点) : 平山廉博士 (早稲田大学、旧所属 : 帝京平成大学) <平成 7(1995) 年 5 月 11 日 - 平成 24(2012) 年 3 月 31 日>
 HMG-1443、1444 (カサガイ付きアンモナイト 2 点) : 加瀬友喜 (国立科学博物館) <平成 21(2009) 年 7 月 9 日 - 平成 24(2012) 年 3 月 31 日>
 HMG-0014、HMG-0016、2011-004 (アンモナイト 3 点) : 重田康成 (国立科学博物館) <平成 23(2011) 年 6

月 1 日 - 平成 25(2013) 年 5 月 31 日>
 HMG-1573 (アンモナイト 1 点) : 重田康成 (国立科学博物館) <平成 23(2011) 年 9 月 6 日 - 平成 24(2012) 年 9 月 5 日>
 HMG-0399 (アンモナイト 1 点) : 前田晴良 (京都大学) <平成 23(2011) 年 10 月 17 日 - 平成 24(2012) 年 3 月 31 日>
 HMG-0357 (長頸竜化石 1 点) : 佐藤たまき (東京学芸大学) <平成 23(2011) 年 11 月 25 日 - 平成 24(2012) 年 11 月 24 日>

【展示】

HMG-842 (アンモナイト)・HMG-883 (イノセラムス) : 穂別地球体験館 <平成 7(1995) 年 4 月 1 日 - 平成 24(2012) 年 3 月 31 日>
 HMB-2、3、4、7、9、11、12、17、19、21、22、25、26、29、30、40、41、43、98、99 (剥製標本 20 点) : むかわ町立穂別小学校 <平成 7(1995) 年 4 月 1 日 - 平成 23(2011) 年 3 月 31 日>
 HMB-36、47 (剥製標本 2 点)、HMC-2797、2798、2799、2821 (ジオラマ 4 点) : むかわ町立穂別小学校 <平成 8(1996) 年 6 月 14 日 - 平成 23(2011) 年 3 月 31 日>
 HMG-0012 レプリカ (モササウルス右前肢)、HMG-1476 (メソダーモケリス) : 読売新聞社 大阪本社 <平成 23(2011) 年 7 月 1 日 - 平成 24(2012) 年 6 月 30 日>
 HMG-0369 (メソダーモケリス) : 沼田町化石館 <平成 23(2011) 年 7 月 19 日 - 8 月 30 日>
 HMG-343 (デスマスチルス臼歯 2 点) : ミュージアムパーク茨城県自然博物館 <平成 23(2011) 年 9 月 27 日 - 平成 24(2012) 年 1 月 4 日>

【学校授業】

人文系資料 (計算機 2006-058、電話機 HMC-599、七厘 HMC-669、たらい HMC-746、洗濯板 HMC-3728、ランタン HMC-245 : 計 6 点) : むかわ町立仁和小学校 中学年 <平成 24(2012) 年 2 月 3 日 - 9 日>
 人文系資料 (おひつ HMC-271・HMC-2675、洗濯板 HMC-3728、鉄瓶 HMC-3454、釜 HMC-1084・HMC-2360・HMC-3244、七厘 HMC-669、柄杓 HMC-105・HMC-292・HMC-293・HMC-785、たらい HMC-746 : 計 13 点) : むかわ町立穂別博物館 3 年生 <平成 24(2012) 年 2 月 16 日 - 17 日>

【出版・報道等】

穂別博物館開館当時の写真 (1 点) : 北海道大学出版会 <平成 23(2011) 年 4 月 27 日許可>

古写真 (HMC-1159、HMC-1436、HMC-1870、HMC-2205、HMC-2217、HMC-2221、HMC-2230、HMC-2233、HMC-2238、HMC-2239、HMC-2320、HMC-2322、HMC-2583、HMC-2591、HMC-2596、HMC-3729<2 枚 >、HMC-3769、HMC-3772、HMC-3776、HMC-3779、HMC-3785、HMC-3787 : 23 点) : 株式会社 郷土出版社<平成 23(2011) 年 10 月 18 日許可>

化石写真 (HMG-1056 アノマロケリス模式標本 1 点) : 築地書館株式会社<平成 23(2011) 年 10 月 18 日許可>

I 調査研究活動

【研究者等の来館】

平成 23(2011) 年 4 月

23 日：長谷川浩二（三笠市立博物館 元館長）ほか
＜アンモナイト化石の観察＞

29 日 -5 月 9 日：重田康成（国立科学博物館 研究主幹）
＜アンモナイト化石の研究＞

平成 23(2011) 年 7 月

18 日：楠橋直（愛媛大学 助教）＜白亜紀動物化石の研究＞

25 日：前田晴良（京都大学 准教授）＜収蔵化石の調査＞

平成 23(2011) 年 8 月

4-7 日：佐藤たまき（東京学芸大学 准教授）・田原健太郎（同学部生）・増田進（同学部生）
＜長頸竜化石の研究＞

11-13 日：野村真一（千葉県立天羽高等学校 教諭）
＜フジツボ化石の研究＞

15 日：木村方一（北海道教育大学名誉教授）・鶴野光（農業環境技術研究所）
＜デスモスチルス化石の観察＞

平成 23(2011) 年 9 月

3 日：荻原成騎（東京大学 助教）＜有機物の化学分析＞

3-17 日：唐沢與希（京都大学大学院 修士課程）
＜アンモナイトの化石化の研究＞

20 日：小林快次（北海道大学 准教授）＜脊椎動物化石の観察＞

27 日：国府田良樹（茨城県自然博物館）＜脊椎動物化石の借用＞

平成 23(2011) 年 11 月

10 日：小林快次（北海道大学 准教授）＜脊椎動物化石の調査＞

29 日 -12 月 4 日：Michael W. Caldwell（カナダ アルバータ大学 教授）、小西卓哉（王立ティレル古生物学博物館 研究員）
＜モササウルス化石の研究＞

平成 23(2011) 年 12 月

17 日：増田進（東京学芸大学 学部生）＜長頸竜化石の観察＞

平成 24(2012) 年 1 月

14 日：国府田良樹（茨城県自然博物館）＜脊椎動物化石の返却＞

物化石の返却＞

平成 24(2012) 年 2 月

28 日：小林快次（北海道大学 准教授）＜脊椎動物化石の観察＞

II 刊行物

【むかわ町立穂別博物館研究報告】

ISSN 1882-5249

第 27 号、33 頁：平成 24(2012) 年 3 月 31 日発行

＜掲載内容＞

岡村 聡（北海道教育大学札幌校）・菅原いよ：穂別 D 遺跡から出土する石製品の岩石学的特徴と原産地の推定.

東 豊土（日高山脈館）・加藤孝幸（アースサイエンス株式会社）：神居古潭帯・糠平岩体由来のロジン岩化蛇紋岩質テクトナイト.

平山 廉（早稲田大学）：北海道上部白亜系から見つかった *Mesodermochelys*（カメ目：ウミガメ上科：オサガメ科）の新資料について.

田原健太郎・佐藤たまき（東京学芸大学）・平山 廉：北海道北西部より産出した白亜紀海生爬虫類化石.

III 学会発表

佐藤たまき・西村智弘，北海道小平町産ポリコティルス類首長竜の *clavicular arch* について（口頭発表）. 日本古生物学会 2012 年例会講演予稿集，A09，2012 年 1 月 富岡市生涯学習センター・群馬県立自然史博物館

IV 学会・大会・研修会等への参加

【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

第 50 回北海道博物館大会（釧路市）

平成 23 年 6 月 30 日 -7 月 1 日：欠席
学芸職員部会 総会・研修会（余市町）

平成 23 年 9 月 8-9 日：櫻井学芸員出席
[日胆地区博物館等連絡協議会]

総会（新冠町）

平成 23 年 5 月 26-27 日：櫻井学芸員出席

職員研修会（苫小牧市）

平成 23 年 9 月 29-30 日：櫻井学芸員出席

館長会議・拡大役員会（苫小牧市）

平成 24 年 3 月 22 日：櫻井学芸員出席（事務局）

[ミュージアムマネジメント研究会]

平成 23 年度北海道博物館協会 ミュージアム・マ
ネージメント研修会（様似町）

平成 23 年 10 月 27-28 日：櫻井学芸員出席

V 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

学習用地水洗：6 月 15 日

【千歳化石会】

野外調査：3 回（4 月 17 日、29 日、5 月 7 日）

寄贈資料：8 件・13 点

総会：11 月 20 日

I 行事等

【博物館協議会】

平成 24(2012) 年 2 月 8 日：6 名出席

【中央生活館の展示】

収蔵している民族資料の展示

【実習等の受入】

平成 23(2011) 年 6 月 14-16 日
穂別高校インターンシップ (小 2)

【3 施設パスポート券】

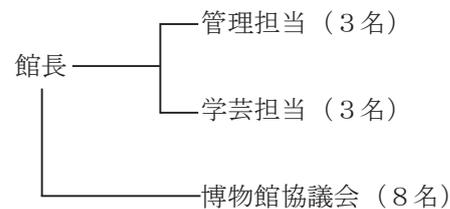
むかわ町 4 施設共同利用協議会（穂別地球体験館、穂別博物館、有限会社シオニー、むかわ町観光協会、むかわ町）による、町内 3 施設（穂別地球体験館、穂別博物館、樹海温泉はくあ）の共通パスポート券の発行。むかわ町内への交流人口の誘導と各施設の宣伝、利用者の新たな掘り起こしを図ることが目的。

実施期間：平成 23(2011) 年 5 月 20 日～7 月 20 日、8 月 20 日～10 月 20 日。

【小西博士招聘事業】

2009 年に穂別地区にて発見されたモササウルス類新規標本は保存状態が非常に良好で、研究にあたって重要となる頭骨の大部分が保存されていることが予測されたため、世界のモササウルス類研究の第一線で活躍している小西卓哉博士（カナダ王立ティレル古生物学博物館）に研究を依頼し、標本調査およびシンポジウムでの発表を実施してもらうために、平成 23 年 11 月 27 日～12 月 4 日の日程で招聘した。シンポジウムについては「普及教育活動 I 博物館事業【シンポジウム】」を参照。

II 組 織



【博物館協議会委員】 <平成 23(2011) 年度>

任期：平成 23(2011) 年 4 月 1 日 - 平成 24(2012) 年 3 月 31 日

- 会 長 梅津讓一
- 副会長 佐藤稔
- 委 員 内海由紀江
- 委 員 鎌田政博
- 委 員 菊地啓允
- 委 員 小石川武美
- 委 員 高橋義道
- 委 員 只野繁

【博物館職員】 <平成 23(2011) 年度>

- <館 長> 今莊光男
- <管理担当職員> 中井 学
- 臨時職員 早瀬千佳
- 臨時職員 多村こゆる
- <学芸担当職員>
- 学芸員 櫻井和彦
- 普及員（嘱託職員） 西村智弘
- 学芸補助員（臨時職員） 下山正美

Ⅲ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成 23(2011) 年 4 月～平成 24(2012) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	484	214	698	115	813	26
5	1,652	698	2,350	400	2,750	26
6	482	441	923	74	997	26
7	743	401	1,144	146	1,290	31
8	1,431	920	2,351	240	2,591	31
9	523	224	747	125	872	26
10	650	258	908	267	1,175	25
11	321	126	447	70	517	25
12	31	7	38	9	47	26
1	36	30	66	9	75	21
2	40	98	138	10	148	25
3	129	43	172	43	215	27
計	6,522	3,460	9,982	1,508	11,490	315

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

＜博物館開館記念日関連事業＞

7 月 20 日の開館記念日に関連して、平成 23(2011) 年 7 月 20 日(水)～7 月 26 日(火)の 7 日間を町民無料入館の日とした。

＜国際博物館の日＞

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977 年）にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5 月 18 日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。）

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

実施日	行事名	一般	学生	計
11.5.18	国際博物館の日	0	0	0
7.20-26	博物館開館記念日	2	9	11
9.19	敬老の日	3	2	5
11.3	文化の日	6	5	11
11.23	勤労感謝の日	0	2	2
12.1.9	成人の日	0	0	0
計	計 12 日	11	18	29

(単位：人)

【学校週五日制関連事業】

＜町内児童生徒に対する入館料減免＞

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成 23 年度の利用者数：92 人（個人見学のみ）

Ⅳ 歳入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	3,604	1,081
	団体	461	92
	割引	2,084	339
学生	個人	1,422	142
	団体	765	38
	割引	877	32
小 計		9,213	1,724
緒収入	物品販売代		4
	体験学習料		11
小 計			15
合 計			1,739

(単位：人・千円)

Ⅴ 歳出

費 目	金 額
報 酬	2,090
共 済 費	440
賃 金	1,942
報 償 費	100
旅 費	262
需 用 費	5,260
役 務 費	356
委 託 料	1,447
使用料及び賃借料	681
負担金補助及び交付金	36
備 品 購 入 費	29
博 物 館 費 合 計	12,643

(単位：千円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。
- * 7、8月は休館日なし。

【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

【減免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

（公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

むかわ町立穂別博物館館報

第29号

平成23（2011）年度版

発行 2012年9月

発行者 むかわ町立穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141